

出会いに学ぶ

いとわず ねがわずに生きる

奈良県平等寺 丸子孝法

一 花は無心にして蝶を招き 蝶は無心にして花を尋ぬ

花開く時 蝶来たり 蝶来る時 花開く

吾亦 人を知らず 人亦 吾を知らず

知らず 帝の則に従う

〔良寛〕

二 私が私になるために 人生の失敗も必要でした

無駄や苦心も骨折れも悲しみも すべて必要でした

私が私になれたのは みんなあなたのおかげです

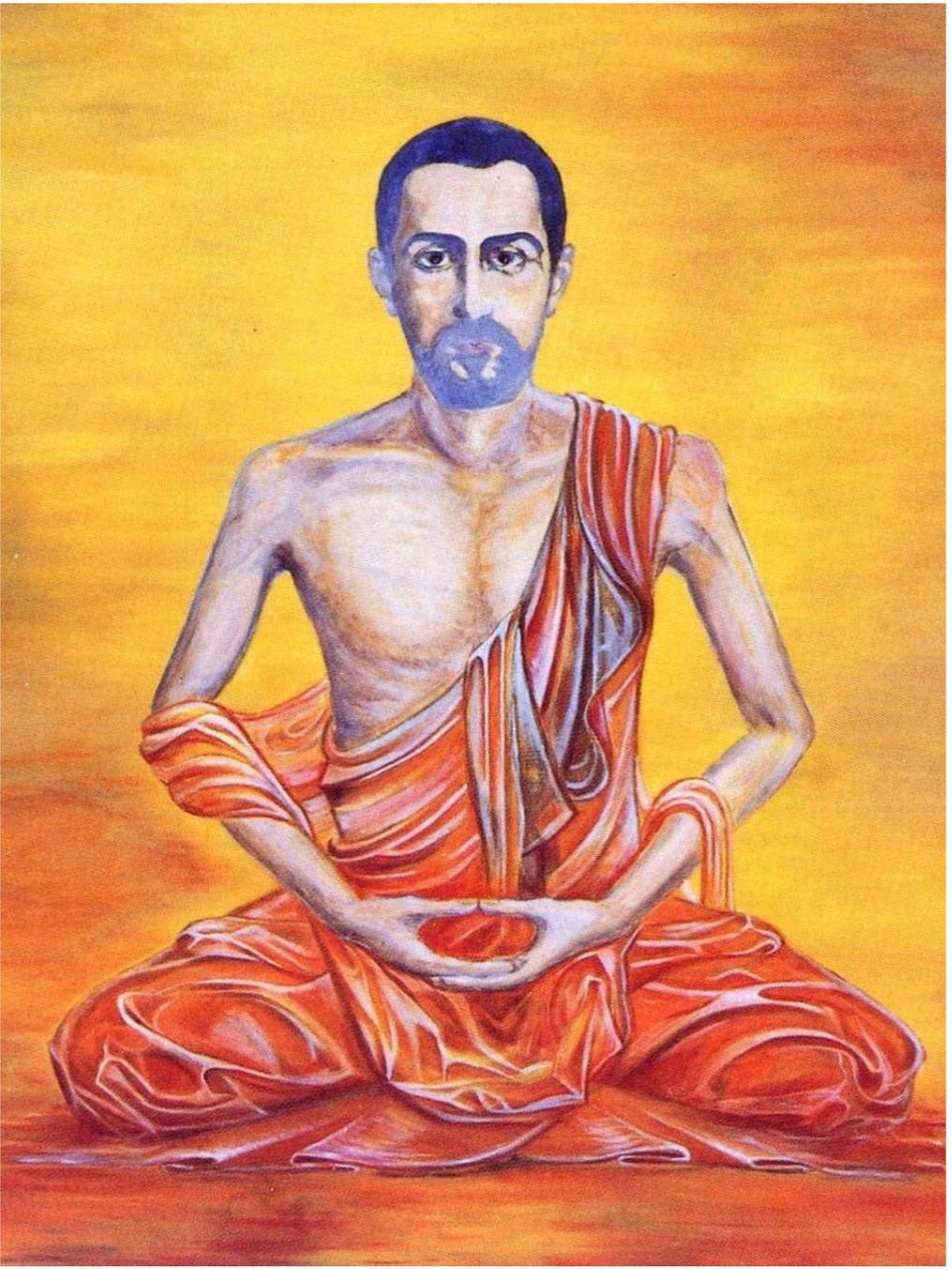
恩人たちに手を合わせ ありがとうございました ひとりごと

〔おさほるみ 『独り言』〕

三 佛となるにいとやすきみちあり (中略) よろづをいとふこころなく

(中略) ねがふこころなく (中略) これを佛となづく

〔道元禅師『正法眼蔵』生死〕



四 僧 洞山に問う 寒暑到来 如何が廻避せん

山曰く 無寒暑の處に向かつて去れ

僧曰く 如何なるか 是れ 無寒暑の處

山曰く 寒時 闍梨を寒殺し 熱時 闍梨を熱殺せよ

〔洞山禅師『無寒暑の話』〕

五 釈迦牟尼佛 明星を見 悟道して曰く 我と大地有情と同時成道すと

〔瑩山禅師『伝光録』〕

六 わたしが 両手を ひろげても お空をちつともとべないが

とべる小鳥は わたしのように 地面を はやくは走れない

わたしが からだを ゆすつても きれいな音はでないけど

あの鳴るすずは わたしのように たくさんな うたは知らないよ

すずと 小鳥と それからわたし みんなちがつて みんないい

〔金子みすゞ『わたしと小鳥とすずと』〕

七 一 少欲 二 知足 三 樂寂靜 四 勤精進

五 不忘念 六 修禪定 七 修智慧 八 不戲論

〔釈尊『遺教経』八大人覺〕